

2012 年 4 月 11 日

各位

会 社 名 株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス

代 表 者 代表取締役社長 社長執行役員 長瀬 朋彦

(J A S D A Q コード番号 6 8 7 9)

問 合 せ 先 取締役常務執行役員 経営管理管掌 角田 光敏

T E L 0 3 - 6 7 4 1 - 5 7 4 2

U R L <http://www.imagicarobot.jp/>

当社子会社(株式会社IMAGICAデジックス)が

クラウド映像制作システム「OOIC(ウーイック)」を独自開発

当社子会社の株式会社 IMAGICA デジックスは、新発想のクラウドベースプロフェッショナル映像制作システム「OOIC(ウーイック)」の開発を発表しましたのでお知らせいたします。

(添付資料 全 4 枚)

株式会社 IMAGICA デジックス ニュースリリース

『全く新しいクラウド映像制作システムを独自開発「OOIC(ウーイック)」』

以上



2012年4月11日
株式会社IMAGICAデジックス

全く新しいクラウド映像制作システムを独自開発



株式会社IMAGICAデジックス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 塚田真人）は、新発想のクラウドベースプロフェッショナル映像制作システム「OOIC(ウーイック)」の開発を発表しました。

OOICサイトURL <http://www.ooic.jp>

システムの特長と開発背景

OOIC(ウーイック)は、放送クオリティーのHDTV映像制作をノートパソコンで実現できるクラウドベースのASPサービス向けプラットフォームです。従来のポストプロダクションサービスは、お客様が編集スタジオに出向く必要がありましたが、OOICは特許登録済み（注1）の処理指向クラウドコンピューティング技術を用いており、場所にとらわれず全世界のクリエイターにインターネットを通じてご利用いただけます。

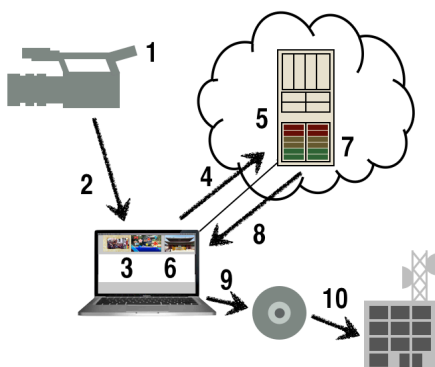
放送品質の映像制作、特に日本の情報・バラエティー系の番組では、装飾的なテロップやグラフィック合成・ビデオウィンドウなどの効果が多用されます。これらのエフェクトを高画質、とりわけHD品質で実現するためには高額なビデオ設備が必要でした。テロップ入れ作業などは制作時にリアルタイムの対話性が必要とされるため、普通のパソコン環境では極めて限定的なエフェクトしか利用できません。情報・バラエティー系番組の制作にはポストプロダクションサービスの利用が不可欠となっています。

しかし、ミッドレンジの映像制作業務では制作予算の事情などからポストプロダクションを利用せず、市販システムを使って簡易編集や簡易テロップで仕上げるケースもあります。このような場合、テロップは簡素なものにし、数も減らし、映像効果も最小限におさえた作品作りで妥協せざるを得ませんでした。

こういった状況で、一人でも多くのクリエイターによりよい制作環境を提供すべくOOICが設計・開発されました。イマジカ・ロボットグループの長年にわたる映像処理ノウハウ・グラフィックスソフト開発技術・インターネットやサーバー処理技術を結集し、世界に例をみない「映像加工処理クラウドコンピューティング」のプラットフォームを構築しました。TV番組のプロデューサー・ディレクターやビデオクリエイターは、OOICプラットフォームのサービスを活用することで、限られた制作予算でもよりクリエイティブな番組制作が可能になります。

OOICはOnline Operation In the Cloudの頭文字をとったものです。（注1: 日本国特許第4565048号・第4681685号）

OOICによる映像制作の流れ



OOICは左図のようなフローで利用できます。

カメラ(1)で撮影されたビデオをパソコン(Mac)に取り込みます(2)。AvidやFinal Cut Proなど使い慣れた編集ソフトで編集します(3)。出来上がりのエフェクト無しの編集済ビデオをインターネットを用いてサーバーに登録します(4)。OOICクラウドサーバーは編集済ビデオからクライアントパソコン(Mac)で扱いやすいプロクシムービーを作成すると共に、作業に必要なデータベースを構築します(5)。クライアントパソコンでは専用のエフェクトソフトとプロクシビデオを用いて文字テロップ挿入やスイッチャ効果などのビデオ装飾を行います(6)。クライアントでの作業が終了すると、作業手順がOOICクラウドサーバー側で解析され、HDの解像度で精密に再現した本番ビデオを作成します(7)。完成ビデオ作品は再びインターネットを用いてクライアントパソコン側にダウンロードし(8)、メディアに転送して(9)顧客に納品(10)という流れになります。

上述のフロー説明では、エフェクト適用前の素材の事前編集を行ってから編集済みビデオをOOICクラウドサーバーに登録していますが、事前編集からOOICを用いることも可能です。その場合はカメラで撮影して取り込んだ素材そのままをクラウドサーバーに登録します。



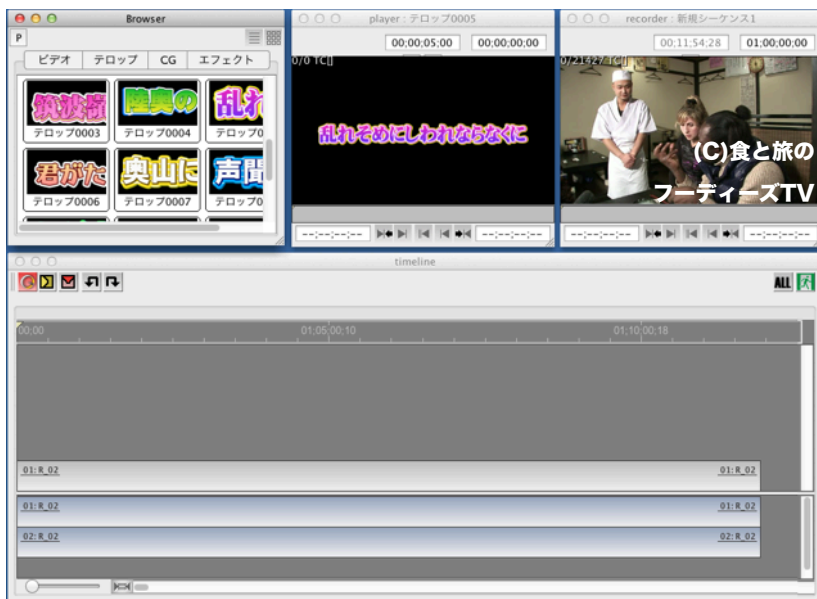
OOICのポータルサイトページ(左)とログイン後のトップページ(右)



OOICのビデオ処理例。多重のエッジがついたテロップやCGが複数配置され、静止画アイコンやビデオウィンドウが並んでいる。

OOICの多彩な機能

- ・プロ用コンピュータベースのビデオ編集ソフトと同様のエディトリアル(映像つなぎ合わせ)機能を備えた、専用アプリケーションソフトは無償で提供されます。



- ・ファンシーな文字タイトルを複数枚オーバーレイすることができます。文字装飾のスタイル(色/エッジ)の情報は保管して再利用したり、インターネットで他のユーザとシェアすることもできます。



- ・Webページ上には本格的なサンプルテンプレートが豊富に用意されており、簡単にプロフェッショナルなグラフィックスを利用することができます。



- ・ プロキシ映像をクライアントパソコンにダウンロードしてから制作を行う方式ですので、編集作業中はサーバーや回線の混み具合など気にすることなくスムーズな作業が可能です。パソコンに必要な映像やエフェクトがダウンロード済みであればインターネットが利用できない環境でも編集や映像加工の作業が実行できます。
- ・ ファイルの転送は、インターネット回線で高速転送を実現するSigniantの技術を用いています。
- ・ 100種類を越える本格的なフォント(ニス／ダイナフォント／モリサワ(予定))が利用可能です。

プラットフォームの核となるバッチ方式映像処理やデータの管理等を行うWebマネジメントなどのサービスは、信頼性の高いデータセンターを用いて提供します。サーバーソフトやクライアントアプリケーションは、映像編集と加工をスムーズに実行できるオリジナル開発品となっております。

動作環境

コンピュータ	Apple MacBookPro以上の性能をもつApple製コンピュータ
OS	OSX 10.6以降
CPU	インテル® Core i7プロセッサ2.2GHz以上
メインメモリ	2GB以上
HDD	500GB以上
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度(1280×1024ピクセル以上推奨)
インターネット	公称100Mbps/実測50Mbps以上のブロードバンド接続契約

トライアルユーザー募集

OOICのトライアルユーザーを募集します。OOICサイトからメールでお申込み頂くか、以下のところまで遠慮なくお問い合わせください。ぜひこの機会にお試し下さい。

OOICサイトURL <http://www.ooic.jp>

【この件に関するお問い合わせ先】

株式会社IMAGICAデジックスOOICプロジェクト 担当：加藤・西岡

電話：03-3595-9106 FAX：03-3595-9103 電子メール：ooic-sales@digix.imagica.co.jp

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-30サウスヒル永田町3F URL: <http://www.imagica-digix.com>